中国一年	補充
必要な情報に着目して、要旨を捉えよう。	
番	組
氏	名

次の文章は、香川県の食文化に関する意見文です。後の問いに答えなさい。

香川県といえば、いまや「さぬきうどんの香川県」である。それほど、さぬきうどんは県外の人に定着し、香川県にとって無くてはならない観光資源の一つとなった。しかしここに来て香川県は新たな展開を見せている。

「さぬきうまいもんプロジェクト」を知っているだろうか。このプロジェクトは「さぬきうまいもん祭り」、「食のアンテナショップ事業」、「食のマーケティング事業」の三つの柱で行われる。例えば、旬の食材や料理の販売を行う産直市場の継続的な実施や、県産の食材を使った料理を味わえる飲食店舗などの開発である。また地域住民と連携し、県産品を使った新しいメニューの開発や地域の味の良さを知る研修会の開催や、シェフの派遣も行われる。これらの取り組みを通して、香川県の豊かな食文化を伝えるのである。いわば、さぬきうどんだけではない食文化の広報活動である。

これらの取り組みは決して県外の人だけに向けられたものではない。なぜなら、香川県の県産品は高品質ではあるが、少量生産というものが多いために、県内の人にとってもあまりなじみがないからである。したがって、これらの事業には、まず県民の参加が望まれる。「さぬきのうまいもん」は決してさぬきうどんだけではない。これからは県民こそ、「さぬきのうまいもん」を知り、県内外に広めていく必要があるだろう。

問一　「さぬきのうまいもんプロジェクト」の三つの柱の具体的な説明がされている部分を、それぞれ五十字以上六十字以内で二つ探し、初めと終わりの五字ずつを書き抜きなさい。

●　～

●　～

問二　「さぬきのうまいもんプロジェクト」を短くまとめるとどんな活動と言えますか。本文中の言葉を使って、二十字程度でまとめなさい。

20

問三　この意見文に題名をつけようと思います。次の**ア**～**エ**の中から最も適当なものを一つ選び、記号を書きなさい。

ア　日本中に愛されるさぬきうどんを目指して　　**イ**　シェフおすすめの「さぬきのうまいもん」

ウ　伝えていきたい、さぬきの食文化　　**エ**　進めよう、さぬきの地産地消